授業科目	航空産業論				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	TO31107J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-3 DP1-4 DP2-1 DP2-2 DP4-1 DP4-2			
担当教員	宮原 英利							
授業概要	<p>観光事業の中で、航空輸送は、移動手段として最も重要な位置をしめ、とりわけ日本では海外出張や観光旅行のほとんどは航空機利用である。近年、移動手段としての航空機は「安全性」や「定時性」を前提に「快適性」や「利便性」を「適正な価格で提供することへの期待が大きい。この顧客の期待にどうこたえていけるか、航空輸送を担っている航空会社の生き残りにかかわってくる。本講座では、航空会社の事業の特殊性を踏まえながら、信頼される航空会社とはどのような会社かを考えていく。</p> <p>更に、航空産業を抜きにしては観光を語れないが、航空産業が、どのように観光に関わっているか、事例を基に考えていく。尚、この授業は、遠隔授業として実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1 航空業界の現状と課題を理解できる。</p> <p>2 航空業界の現在の取組みを理解できる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	0	30	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	10						10	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)	5						5	
知識・理解 (DP1-4)	5						5	
思考・判断 (DP2-1)	10		10				20	
思考・判断 (DP2-2)	20		20				40	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	10						10	
態度(DP4-2)	10						10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>1 航空業界の現状と課題を理解できる。</p> <p>2 航空業界の現在の取組みを理解できる。</p>				<p>1 航空業界の現状を理解できる。</p> <p>2 航空業界の現在の取組みのうちの7割程度を理解できる。</p>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション			講義		予習		30

2	航空輸送の歴史	講義	当該部分の予習復習	45
3	国際航空機関、及び国際航空政策	講義	当該部分の予習復習	45
4	日本の空港の現状と課題	講義	当該部分の予習復習	45
5	航空運送業の特徴	講義	当該部分の予習、復習	45
6	航空旅客需要の特徴	講義	当該部分の予習、復習	45
7	アライアンス(航空連合) アライアンスの背景とグローバルアライアンスの誕生、発展について	講義	当該部分の予習、復習	45
8	航空会社のネットワーク戦略 ネットワーク戦略とアライアンスについて	講義	当該部分の予習、復習	45
9	プライシングとレベニューマネジメント 運賃の多様化について	講義	当該部分の予習、復習	45
10	マイレージとデータベースマーケティング 多様な情報を基にした顧客戦略の方向性について	講義	当該部分の予習、復習	45
11	CS (顧客満足)の重要性について	講義	当該部分の予習、復習	45
12	LCC(格安航空会社)の台頭と特徴。	講義	当該部分の予習、復習	45
13	既存大手航空会社(FSC)の対LCC対策について。	講義	当該部分の予習、復習	45
14	まとめ、及び試験	講義	当該部分の予習、復習	45
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	英語を使うことが多いので、最低でも英検準2級程度の英語力。			
テキスト	航空産業入門 株式会社ANA総合研究所 東洋経済新報社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「航空事業論」井上泰日子、日本評論社 「現代の航空輸送事業」三田謙 同友館 「エアラインビジネス入門」稲本恵子 編著 晃洋書房			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	人文、社会科学系の学部の学生が学修する航空業・ビジネスは、近年「運輸業」ではなく「サービス業」の範疇と言われている。この特徴的業種のビジネスの現状と課題をしっかりと学ぶこと。それには、関連する新聞記事やテレビ番組などを日頃から見ておくことが重要。			
達成度評価に関するコメント	知識よりも理解度を重視する。 定期試験 70%、レポート30%とする。尚、レポートについては、出題された課題の考えるべき内容を理解しているか、文章の構成力、表現力、及び誤字・脱字は無いかな等で評価する。			